

生活の科学を楽しむ

理科離れの時代に、少しでも理科に興味を向けただけだと、青少年向けの初めての試みとして、『おもしろ理科教室』を企画いたしました。身近なところで楽しく、面白く、意外な発見ができるような実験を用意いたします。きょうご家庭で話題にさせていただけるとおもいます。ぜひ親子でもご参加下さいますようお願い致します。

記

1. 日時 2月13日(土) 午前10時～11時30分
2. 場所 中和田教会 集会室
3. 実験内容 ???(何に出会えるかお楽しみ)
4. 講師 森脇 美武先生
5. 対象 小学校5、6年～中学1、2年くらい

青少年を考える会



公 示

カトリック中和田教会運営規程により
信徒総会の開催をお知らせ致します。
日時 一九九九年一月三十一日 九時ミサ後
場所 ご聖堂

一九九九年一月十日
教会委員長 花坂 洋一

第243回



今月の予定

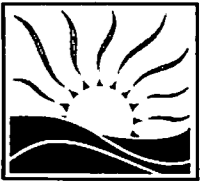
- 委員会 1月10日
- 成人の集い 1月10日
- 壮婦新年会 1月17日
- 信徒総会 1月31日
- サロン 1月10, 24日
- レジオ 1月22, 29日

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
1999年1月10日



あらたに思い決めると

山崎 正俊



同じ材料が与えられているのに、その持っている材質によっては、まったく別のものになったように見える。そうであっても、その眼により、先入観とか経験によっても、ときと場合によっては、受けとめた順序によってさえ、まったく違ったものになるような。

私がいまのような型をしており、いまのような姿を感じさせているのは、どうしたわけか究めようはない。だから、気がついたところで、反射的に反応するしかないのかもしれない。あのような奴のせいかと云われるとしても、それは当てになるものではない。ひとつの意見にすぎないのだから。

そうすると、いまの私のありようは、たまたま、そうなっているのにすぎず、たえず反省しつづけることによってしか、どうにもなるものではないし、自分なりの次の一歩があるだけで、ひたすら「良い結果」になることを祈るだけ。あとはなりゆき(神様のおぼからい)におまかせするわけか。

だとすれば、たとえば、車のハンドルをおさえているだけで、与えられた動きにまかせるしかないのだろうか。祈りとはやっぱり、「よしなにしてください」ということに尽きることになる……。

いろいろな踏みちがえがあったとしても、「すべてよし」として、有り難いことでございますと、なんとか感謝しなければならず、すきにしてくださいと思うしかないらしいというような次第に、落ち着くしかないのか。ハンドルさばきに馴れるのにまかせているしかないとして、真っ暗闇のなかを、あなたまかせに進んでいるようなものらしい。なんとしたシンドイことか。——これは、とんでもない愚かな思いつきかと見られても、ここを通らなければ先にゆけないし、時は過ぎゆかないような気がしている。

気がつきたいまは、ここに、何故か、ノンビリと構えているだけ。しかたがない、ここで道端にたちどまって、ひと休みすることにきめて、タメイキを吐くことにでもするかなどと思うとは、なんとしたことか。いくらなんでも、正月だからとか、一年の計は元日にありとかでもあるまいから、しっかりしろとでも、自分で自分に気合いを入れてみよう。

人事異動というよりは、司祭は派遣されているのである。誰のためにどこへ、何を期待されていることか。それでも、自分の「これだと思ふこと」に徹しているだけにとまっているようで、先輩や仲間に勝手な批判をされているのに困らされても、司教の寛大さがたよりにできるのに安心して、「いましなければならぬのはこれだ」ときめ、「これが好きだから」と弁解している。ますます孤立することを承知で、突き進んでいるように見られている。しかし、神様(イエズスさま)から派遣されている証人だということは決して忘れてはならないのだそう。——神様(イエズスさま)のお考えからはずれるなら、司教様が新しい場所を指定されるだろうから、「生命をかけての証人」として、その派遣の使命におこたえするように進むしかないのだと、その司祭は覚悟している。——彼の願いを共有し、それに共同・共感し、その前にタチハダカルような邪魔者を改心させることぐらいには、手を貸すことを、やめさせられたくはない。このショボクレ者のトシヨリも。

お知らせ

転出

12月3日
ペトロ 肥喜里 洋二(父)
岬(子)
〒859-4752 長崎県松浦市御厨町里免479

御逝去

12月15日
マリア 小谷 やすの
(御主人 小谷 徳爾 245-0014 泉区中田南2-11-4)

洗礼

12月23日
モニカ 高木 由美子(母)
ヨハネ・バプチスタ(洗礼者) 潤也(小2)
ピオ5世(教皇) 潤紀(幼)
〒252-0813 藤沢市亀井野3-3-12
Tel (0466)84-0123



99年度広報原稿執筆担当

月	発行日	担当	締め切り
1月号	1/10	婦人会	1/3
2月号	2/7	壮年会	1/24
3月号	3/7	婦人会	2/28
4月号	4/4	壮年会	3/28
5月号	5/2	婦人会	4/25
6月号	6/6	壮年会	5/23
7月号	7/4	婦人会	6/27
8月号	8/1	壮年会	7/25
10月号	10/3	壮年会	9/26
11月号	11/7	婦人会	10/24
12月号	12/5	壮年会	11/28

・締め切りは毎月第4日曜日です。厳守下さい。
・原稿提出先: 教会原稿入れ。フロッピーや電子メールでの送付は大変助かります。アドレスは E-mail: iweisuke@mb.infoweb.ne.jp NIFTY: GEG00732

ミサ当番表 (99年1、2月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
1/3	主の公現	壮年会	岩 淵	2/7	年間第五主日	壮年会	美 底
1/10	主の洗礼	青年会	美 底	2/14	年間第六主日	青年会	森 田
1/17	年間第二主日	婦人会A地区	森 田	2/21	四旬節第一主日	婦人会B地区	大 宮
1/24	年間第三主日	壮年会	大 宮	2/28	四旬節第二主日	壮年会	岩 淵
1/31	年間第四主日	婦人会A地区	岩 淵				

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel 802-6258)



南米旅行の思い出 (その3)

(パラグアイ、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル)



真っ赤な太陽が水平線からゆっくり上がってくるのを背に受けながら、エセイサ国際空港に向かう。昨夜予定外に“フォルクローレの女王”と、その筋では崇拜されているメルセディスローサーのコンサートチケットが手に入り出かける。コンサートの始まりが夜の9時過ぎ。今朝が早いこともあり、休憩タイムにホテルへ戻ってくる。睡眠不足のせいか頭がぼーとする。それでも朝もやが立ちこめる中に広々としたサッカー練習場を見たりしているうち、目も冴えてくる。

アルゼンチン航空で約2時間30分、ボリビアのエルアルト国際空港へ着く。富士山より高い標高4000mにある空港は、すっきり晴れ渡り頭のすぐ上に青空が広がっているようだ。Yの恐れていた悲劇は飛行機から降りたどたんにと始まっていた。高山病なるものを知らない自分は、何の変化も感じないまま歩き出したのだが、Yはそろり、そろり、そして苦しそうな表情。高山病も個人差があって全く平気な人、ひどい人に分かれるらしい。幸いにも自分はそんな彼女をサポートする側にまわることができ、高山病に苦しまずにすむ。



タクシーで首都ラパスへ下っていく。すり鉢状の底にあるラパスは標高3200m~3800m。坂を上ったり下ったりという町なのだ。

ホテルでは島観光の桜井さんという移住生活数十年とおぼしき老人が迎えてくれる。観光日程を組み終えて、Yは町の薬局で高山病に効くという錠剤を2瓶買い込むが、殆ど効果はなかったらしい。まずはこの標高に体を慣らしていくことが大事ということで、夕方まで休息をとる。



部屋から外を眺めると、サンフランシスコ広場にバロック様式の大きなサンフランシスコ教会が見える。そして山高帽に民族衣装の人々の往来が目に入ってくる。人口の50%がインディオで占められるラパス。マスメディアや写真を通してしか見たことのない光景が、まさに目の前で繰り広げられている様に興奮を覚える。

青ざめて苦しそうなYは3台持ってきたカメラのうち一番上等そうな1台を胸に抱え、窓の外からシャッターを切り始める。彼女がどうしてもボリビア行きを主張した理由——彼女の絵の題材となるインディオの生活を被写体とすること——だったのだ。この先3日間シャッターを切りまくったが体調の悪さで思う写真が撮れなかったとボヤク。

夕方桜井さんから岸本君の居場所が分かったと連絡が入る。Kがボリビア行きを主張した理由は岸本君に会うためだった。かれはサンポーニャという楽器奏者で、日本でKと組んだりした仲間の一人。ボリビアでの活動は6年間にもなるとのこと。



ボリビアのフォルクローレ
アンデス一帯の民族音楽を一般にフォルクローレと呼んでいる。シーク(葎を束ねた笛)やチャランゴ(ギター仲間)等いろいろな民族楽器が用いられる。

夜、彼が出演しているペーニャ(フォルクローレを聴かせるライブハウス)へ出向く。2人は懐かしの対面を果たし会話がはずむ。つらく苦しそうなYを見て岸本君がポケットから小袋にいれたココアの菓を出してティーに入れてくれる。高山病を和らげてくれるからと、残りを手渡されるが、あの税関でウロウロしていた麻薬犬が頭をよぎり、ホテルへ戻ってすぐにゴミ箱に捨ててしまう。

とにかく南米でのショーやコンサートの始まる時間が何でこんなに遅いのだろう。今夜のフォルクローレも始まったのが夜中の12時。岸本君にはすまなかったが、中座してホテルへ戻る。翌朝は6時にチチカカ湖へ向かうバスに乗らねばならないので大急ぎでベッドにもぐりこむ。

小山 利江



委員会だより

<12月6日(日) 12名出席>

【1】財務報告：98年11月度決算報告(甲斐さん)
(括弧内金額は98年度年間予算)

	98°収入累計	98°支出累計	収支差額
一般会計	7,193,574 (6,509,287)	6,463,277 (6,509,287)	730,297 (0)
建設会計	6,143,476 (5,396,270)	595,000 (4,690,000)	5,548,476 (706,270)
愛の献金	1,020,829 (1,110,131)	551,580 (620,000)	469,249 (490,131)
信徒預金	801,682 (859,931)	60,009 (680,000)	191,673 (179,931)

>特記事項:

- 献金の集りが少なくなって来ている(教会に来ない人が多くなっている)。
- 11月単月収支は-49,992円(赤字)。これは、本部分担金の支出(127,500円)等による。
- 教区に提出した99年度一般会計予算は、本年度と同じで提出した。
- 建設会計で、12月20日に3年分繰上げ返済を予定通り行う。加えて、教区司祭館建設の寄付金50万円を納める予定。
- バザー収益金の一部(3万円)を泉区社会福祉協議会に寄付。
- 一粒会より本年度累計が318,106円との報告あり。

【2】議題:

- (1) 12月13日: 赦しの秘跡
- (2) 12月24日 クリスマス・パーティ:
 - 婦人会の提案に基き、今年はティー・パーティ方式で簡素に行う。(アルコール抜き)
 - 壮年会より子供達にケーキをプレゼントする...50名分準備。
- (3) 12月19日 年末大掃除を午前10時から実施する。
- (4) 平成11年度成人式:
 - 対象者数は3名。
 - お祝は、サロンの日に合わせて1月10日に行う。
- (5) 平成11年度信徒総会: 1月31日に開催する。
- (6) 「青少年を考える会」:
 - 森脇さんの「面白い理科教室」を2月の土曜日に開催したい旨、小野寺さんから提案あり。
- (7) 住所録の印刷が完了: 一世帯に1部配布。

壮年会だより

<12月20日(日) 10名出席>

1. 財務報告(甲斐さん) 月定献金の集まりが悪い...教会へ来ない人が多くなっている。
2. 赦しの秘跡...12月13日
3. クリスマスパーティの方法
ティーパーティ方式とし簡素にする...集会室
壮年会から子供さんへケーキをプレゼント...50名分
4. 年末大掃除...12月19日(土)午前10時~
壮年会の参加者は9名で、本年は御聖堂裏の倉庫の
不用品の整理もした。
5. 平成11年度成人式 対象者:3名

- 1月10日(サロンの日に合わせ集会室で行う)
6. 平成11年度信徒総会...1月31日
7. 『青少年を考える会』
森脇さんの「面白理科教室」...2月13日(土)に開催したい、未信者の子供さんの参加を歓迎するので隣近所の子供さんにも一声掛けて下さい(小野寺さん)
8. 一粒会会計報告 318,106円
9. 婦人会:バザーの反省
*焼き鳥の数が少なかった
*焼きそばが高くて量が少なかった
*イカが小さかった
10. バザー益金から3万円を泉区社会福祉協議会へ寄付
11. 聖歌の集い: 11月28日、於:保土ヶ谷教会(石井さん)
12. 教区司祭館建設資金...50万円を拠出
13. スリッパ50足を購入済み、追加購入(50足)を予定
14. 住所録完成: 一世帯1部、小野さん御苦勞様でした。
15. 宣教委員会
湘南短期セミナーへ当教会から34名参加(七浦さん)

婦人会だより

<12月20日(日) 40名出席>

- ◎委員会報告
- ◎クリスマスについて
 - 一人一個ずつわたる洋生菓子と軽いお菓子、みかん、コーヒー、紅茶、ジュース等を用意いたしました。
- ◎婦人会会計について
 - 一般会計より、パイプハンガーと掃除機を購入しました。
 - 特別会計より、フマニタス救済事業 10,000円、命の電話 10,000円、カナタ後援会 10,000円、カリタスジャパン 20,000円を寄付しました。建設会計へ350,000円を寄付しました。(回転資金として100,000円程を手元においておくということで残金を建設会計にまわしました)
- ◎平成11年度新役員紹介(敬称略)

会長	マリア	楠田 恵美子
副会長	ルチア	横塚 郁子
初代会長	マリア・アスタ	松田 ノリコ
一般会計	マリア	宮崎 ヒトミ
特別会計	ルチア	森田 チエ子
典札	マリア	川原 葉子
	マリア・アンナ	北川 保子
第5宣教委員	マリア・フランシスカ	瀬尾 史子
- ◎来年度の総会と新年会
平成11年1月17日(日)ミサ後に行います。会費は1,500円です。
ご出席の方は張り紙にご記入下さい。〆切は1月10日(日)です。
お掃除当番表にも、御協力頂ける方はご記入ください。



次回例会は1月17日(日)、次回当番はA地区です。

皆様一年間の御協力ありがとうございました。来年度の役員の方々、よろしく願いいたします。